

＝いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、
市内全校に広げるために＝

令和5年度 絆づくり成果交流会 実施報告書



なかなあいマーク

令和5年11月2日(木)
滝川市立小・中学校(9箇所)
滝川市役所8階大会議室

滝川市教育委員会

令和5年度「絆づくり成果交流会」

=いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、市内全校に広げるために=



なかなおひマーク

期日：令和5年11月2日（木）
場所：市立小中学校（9箇所）
滝川市役所8階大会議室

《開 会》

- 1 オリエンテーション 滝川市教育委員会 教育総務課主査 小 西 和 真
- 2 各学校の取組の紹介（実践交流）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ① 江陵中学校 | ② 明苑中学校 | ③ 開西中学校 |
| ④ 滝川第一小学校 | ⑤ 滝川第二小学校 | ⑥ 滝川第三小学校 |
| ⑦ 西小学校 | ⑧ 江部乙小学校 | ⑨ 東小学校 |

- 3 感想交流（意見交換）
- 4 まとめ
- 5 講 評 滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

《閉 会》



心の教育推進キャンペーン

[主催] 滝川市教育委員会

[後援] 滝川地区保護司会・滝川市PTA連合会

全校集会「いじめについて考える集会」の実施

〈 取組内容 〉

1 概要

5月の学校だよりで、いじめアンケートの結果が発表されました。それによると、仲間の中に「嫌な思いをしたことがある」という人がたくさんいることがわかりました。生徒会では、これをきっかけに、仲間との関係づくりについて考え、よりよい学校づくりにつなげようと考えました。

これまで学級で行っていたいじめの学習を全校で行い、他学年の意見に直接耳を傾けることにしました。



2 内容

NHK for School から、いじめで自死をした「松竹景虎さん」の作文を紹介し、なぜいじめが止まらなかったのかを考えました。作文を分割し、その都度、松竹さんのとらえ方がどのようなものかについて考え、意見交換をしながら、いじめを客観的に捉えました。また、他学年の意見を聞くことで、自分とは違う価値観を交流しました。

最後に、自分の「マイアクション」を作り、模造紙に貼りだしました。自分事としてこれからの生活に役立てるとともに、他人の意見を知ることで、集団としての雰囲気を作ることが目的でした。

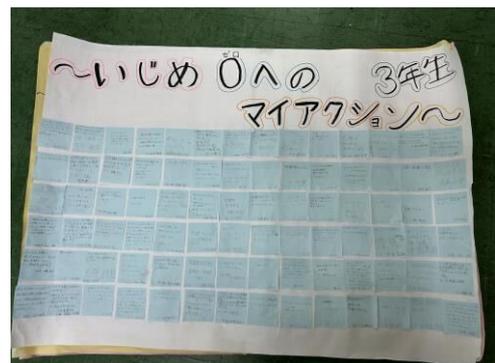


3 様子

作文には松竹さんがいじめられていく様子が細かく紹介されており、スライドに合わせて、生徒会役員が朗読をしました。全校生徒は真剣に耳を傾けていました。

意見交流では、「この時、どのような思いだったのか」などの話し合いを行いました。発表場面でも互いの意見をしっかりと受け止めていました。

マイアクションには、「笑顔を忘れない」「周りに流されない」などの決意がたくさん紹介されていました。作成後は、中央廊下に掲示して、全校生徒が自由に見られるようにしました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 全校生徒でいじめについて知り、被害者の気持ちを知ることができた。
- 普段から笑顔を忘れず、絆の輪が広がっている感覚がある。
- ▲ クラスでも、いじりや暴言が絶えないことがあり、うまく伝わっていない。
- ▲ 特定の人で固まってしまっているため、全員と話することができる環境を作る。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立明苑中学校

いじめ根絶に向けて～全校生徒が一丸となって取り組む活動

〈 取組内容 〉

1 生徒が主体となって行うあいさつ運動

明苑中学校では、生徒会執行部や学級役員が中心となって生徒玄関前で毎朝あいさつ運動を行っています。

玄関に立って「おはようございます」と声をかけ合うことで、人と人とのつながりや会話のきっかけをつくり、一日を明るくすることにつなげたいと考えています。挨拶をしても返してもらえないこともありましたが、日々継続していくことで着実に挨拶の輪が広がっていると感じています。「あいさつの明苑」を作っていくためにとても大切な取り組みです。

人とつながりという視点では、地域の除雪ボランティアを実施しました。相手のために自分ができることを一人ひとりが自発的に行い、感謝の言葉をもらいました。また、夏休みに小学校に勉強を教えに行く学びのボランティアも行っています。今後も絆づくりを継続していきたいと思っています。



2 いじめゼロのために連携を目指す取り組み

東小・第三小・明苑中の3校で毎年継続した取り組みとなっている「いじめ撲滅集会」を昨年度は各校・各学級をMeetでつないで行いました。昨年は「みんなが嫌な思いをしない学校生活」について事前に考えを深め、いじめ撲滅集会では各学級の考えを交流し、グループごとに今後の生活の中で意識できるよう「標語やキーワード」を決めました。そのキーワードを記載したポスターを明苑中学校区で巡回し、各校で活動を振り返られるようにしました。生徒アンケートの結果では、「ポスターを見て考えが深まった」と回答した人は約80%、「みんなが嫌な思いをしない学校生活について考えが深まった」と回答した人は約90%でした。特に大切だと思ったことは「思いやり」「見て見ぬふりをしない」と回答している人が多かったです。また、いじめをなくすために自分ができることは「相手の気持ちを考える」「言葉に責任を持つ」「見て見ぬふりをしない」という意見が多く見られました。今年度もいじめ撲滅に向けたスローガンをつくる予定です。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○以前あいさつをしていなかった人があいさつをしてくれるようになり、積極的にあいさつをしてくれる人が増えた。

○いじめ撲滅集会を通して、いじめに対する意識が変わっていったと思う。いじめについて考える人が多くなった。

▲あいさつ運動をやっている人で、機械のようあいさつしている人がいる。また、まだあいさつを返してくれない人もいる。

▲見えないところで悪口を言っている人がいて、あまり意識が変わっていないように感じる人もいた。いじめがなぜだめなのかをもっと深く考える必要がある。

生徒会挨拶運動・委員会を中心とした異学年交流

〈 取組内容 〉

1 生徒会による挨拶運動

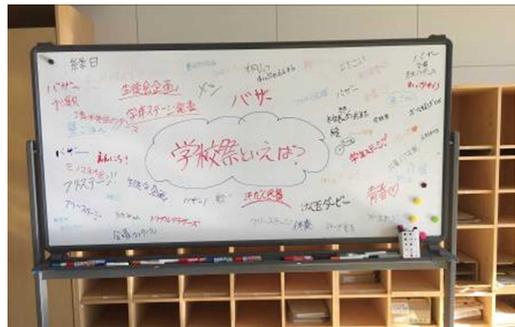
生徒会執行部が、朝の登校時間に 10 分間の時間で挨拶運動をおこなっています。

挨拶の活性化、生徒一人一人の積極性や、生徒会活動への関心を高めるなどの目的で活動しています。生活委員会も連携して挨拶運動に取り組んでいます。



2 コミュニケーションボードによる異学年交流

生徒会がテーマを企画し、ホワイトボードに全校生徒が自由に記述して、考えの交流などを行います。昼休みなど、開西スクウェア広場で、異学年が自由に接しながら、文字で交流します。



3 保体委員会主催による異学年交流レクリエーション

保体委員会が企画して、昼休みを 3 日間使って異学年チームでのドッジボール大会を行いました。

生徒が企画を盛り上げ、企画を成功させようという姿勢が見られました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 挨拶への意識が高まった。委員も積極的に活動に参加した。
- 昼休みに、大人数でドッジボールなどまとまって遊ぶことが増えた。
- ▲ コミュニケーションボードに、個人名を記入するなどいたずらがあった。

「いい顔・いい声・いい心」思いをつなぐ笑顔の企画

〈 取組内容 〉

これまで制限の多かった学校でのとりくみが、ほぼ通常通りにできるようになりました。大人数・異学年間の交流も可能となり、一層の「つながり」「絆」を意識し、みんなが笑顔になれるようなとりくみを前年度からの継続も含めて行ってきました

◎ 笑顔あふれる「ニコハピタイム」

本校のスローガン「①いい顔、②いい声、③いい心」に結びつけ、「笑顔になる企画（ニコガオ）」「いい声を交わし合う企画（コエハピ）」「素敵な心をつなげる企画（ココハピ）」の3つを「ニコハピタイム」として内容を考え、実践しました。



あいさつ活動の様子から

1. ニコガオタイム「全校遊び」

全校児童がグラウンドに集まり、「てんか」を実施する予定でしたが、2学期前半の高温のため中止になってしまいました。低学年からは、「いつやるの？」という声も聞かれたり、楽しみにしてくれている様子があったので、時間を見つけて実施する予定です。

2. コエハピタイム「あいさつの活動」

玄関や外であいさつを交わし、5日間の最終日にはあいさつをしてくれた人に手作りシールをプレゼントしました。



3. ココハピタイム「ボランティアの活動」

前年度の三役から思いを引き継ぎ、学校周辺のごみ拾いに初めてとりくみました。

ごみ拾いは前期児童会のとりくみですが、後期にも自分たちができることは何かを考え、引き続き行う予定です。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- ①コエハピタイムのあいさつは、どんなところでもあいさつができるように場所をかえてやりました。先生方にあいさつしている人が増えました。継続してやると良いと思います。
- ②昨年の三役からの思いを引き継ぎ、継続したとりくみとしてボランティア活動を行うことができました。学校近くの公園は思いのほかきれいでしたが、道路のたばこの吸い殻の多さにびっくりしました。

- ▲ ①について… スタンプが押しにくかったので、下敷きなどを準備したら良いです。
- ▲ ②について… おうちの人にも呼びかけ、ごみを減らすようにしたら良いと思います。また、学校以外の場所もきれいにできたら良いと思いました。
- ▲ 新しい活動をとりにれるためにはどの活動をやめるべきか、取捨選択をきちんと行うことが大切だと感じました。他の委員会と内容が似ている企画もあり、今後は協力して実施できることはないか、相談しながら進めると良いと思います。

明るく笑顔があふれる学校づくり

〈 取組内容 〉

1 「校内ウォークラリー」の実施

昨年度の書記局が行い、好評だった企画「校内ウォークラリー」。

「ぜひ、今年もやってほしい」という全校の願いと「自分たちもこの企画をやりたい」という、書記局と代表委員会の思いが一致し、実施になりました。

まず、書記局・代表委員会が各学年に合った、クイズを考えました。全部で6問あるうち、低学年は2問、中・高学年は6問解いて、書記局が待っている玄関まで解答用紙を持てきます。書記局は、一人一人の答えに○付けをし、参加ありがとうの意味を込めて、スタンプを押します。

いろいろな行事の関係で2日しか行うことができませんでしたが、今回も全校児童ほとんどが参加し、大盛り上がりで終わりました。

また、校内の各所では、クイズのある場所やクイズのヒントを高学年が低学年に教える様子も見られました。全校での絆を再確認する2日間でした。



2 「いじめ相談ボックス」の設置

学校でもいじめについてのアンケートを行います。それよりも先に、いじめゼロに向けて書記局から呼びかけを行いました。

「学校生活の中で嫌だな～と感じることがあったら書いて、ボックスに入れてください。」と、呼びかけをしました。

中には、「できることを自慢されて嫌だ」「遊具を独り占めされている」などありました。書いてもらった悩みに対して、書記局が全校集会で「人が嫌がることはやめよう」と呼びかけました。

普段の何気ない一言が、実は人を傷つけているということもあるということ、また、小さな出来事でものちに、大きないじめにつながるという自覚を一人一人気づいてくれたらと思います、これからも活動をしていきます。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○明るく笑顔あふれる学校という目標に向けて全校で取り組み実施することができた。

○みんなが楽しんで参加してくれた。学校全体の団結力が深まった。

○高学年が低学年に教えてあげるなどの思いやりの様子が見られ、学校全体が温かい雰囲気になった。

▲全員が参加することができるよう、実施期間をもう少し長くすればよかった。

○いじめに対して全校で取り組み解決することができた。

○普段思っている「小さな嫌なこと」を書いてもらうことができ、全体の場で確認をすることができた。

▲いじめ相談ボックスをもう少し目立つ所に置いたり、ポスターを作ったりすることで、もっと相談が増えたのではないかと思います。

毎日みんなが楽しく元気で過ごせる学校づくり

〈 取組内容 〉

1. あいさつ運動

前期は毎週水曜日、後期は毎週月曜日に書記局が玄関にポスターを持って立ち、あいさつをしています。また、生活委員会でも期間を設けて行いました。元気なあいさつから気持ちよく一日をスタートさせるため、後期は特に、「目線を合わせる」「天気の良い日は外でもあいさつをする」「楽しく色々な国のあいさつも取り入れる」ことを書記局で企画しました。自分からあいさつができる第三小学校をめざして続けていきます。



2. 動画作り

前期は、「ルールを守って楽しく過ごすために」ルールを知らせる動画を作って放送しました。後期もルールについて知らせる動画を撮ります。さらに、絆を深めるためにみんなの日々を紹介したいと考え、各クラスや部活動などの紹介動画を撮って放送することを企画しています。それぞれのクラスの良さが全校に伝わるようにしていきたいと思えます。



3. スマイルプロジェクト

学校中があたたかく優しい言動であふれるように、「うれしい」「楽しい」「おもしろい」「友達の良さ」を張り出したり、放送したりする企画をしています。みんなが気軽に参加できる企画を考えています。

4. 各委員会が企画運営する「絆づくり」の集会などの活動

各委員会でも、学年をこえた「絆」ができるように工夫して活動しています。体育委員会では「○×新聞クイズ大会」や集会委員会では「みんなで遊ぼう集会～ジャンケン列車」を行いました。他学年との交流は、ここ数年行えなかったもので、楽しみながら絆を深めることができました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- ルールを伝える動画は、書記局で台本を考え演技をして放送でき、みんなが楽しみながらルールを知ることにつながった。
- あいさつ運動を続けることで、自分からあいさつをしてくれる人が増えてきているので、後期は、さらに工夫して続けていきたいと思っている。
- ▲前期に行った「絆を深める川柳作り」は難しかったことと、募集期間が短かったことで、後期はみんなが参加しやすいように「スマイルプロジェクト」に取り組むことにした。

「仲間づくりプロジェクト」と常時活動

〈 取組内容 〉

1 仲間づくりプロジェクト第1弾「校内ドッジボール大会」

[方法] 各クラスを1チームとして、通常のドッジボールをトーナメントでした。ただし、異学年と戦う場合は、「上学年は下投げで当てなくてはならない」というルールを加えた。なので、今までと異なり、校内ナンバー1のチームができた。終了後、児童全員の下記のアンケートをとった。

[アンケート結果]

- ①「校内ドッジボール大会」は楽しめましたか？
はい 82% いいえ 18%
- ②クラスの仲は深まりましたか？
はい 67% いいえ 33%
- ③この先、他のクラスの子と、遊びたいと思いますか？
はい 82% いいえ 18%



2 仲間づくりプロジェクト第2弾「児童会への意見カード」

[方法] 普段なにげなく感じていることや児童会への要望等を自由に書けるポストを設置した。全校児童が児童会に対してどんなことを考えているかを調査して、月に一度の委員会で書かれていることを精査した。

3 常時活動①「グッドグリーティング」

昨年度同様、児童会の常時活動『グッドグリーティング』というものをした。毎朝登校時間に合わせ児童会が、音楽を流しながら、一言メッセージやクイズなど、気持ちよく一日がスタートできるように声かけを行った。ほぼ一日も途切れずに、活動した。



4 常時活動②「あいさつ運動」

登校時のあいさつ励行化を促す活動をした。最初に一週間、何となく立って、本校の朝のあいさつの様子を見てから、みんなに放送やポスターで呼びかけをした。次の一週間に、正式に立ってあいさつをした。気持ちよいあいさつをした児童はその日のお昼の放送で紹介した。

〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○仲間づくりプロジェクト第1弾では、大半の児童が楽しめ、他のクラスとも仲良く遊びたいという気持ちが高まった。

▲クラスの親睦を深めることは、あまり効果が出なかった。

○仲間づくりプロジェクト第2弾は、みんなが自由に意見を言える雰囲気が作り出せた。

▲出てきた意見に対して児童会が回答することはなく、中途半端になってしまった。出てきた要望に少し応える必要もある。

○グッドグリーティングを、楽しみに聞いている児童や職員が増えた。

○あいさつ運動期間以外でも、いろいろな人へあいさつする児童が増えていった。

▲この期間だけあいさつをやった児童も多いので、習慣化させる取り組みが必要である。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立江部乙小学校

互いを思い合い、元気いっぱい笑顔があふれる江部乙小学校

〈 取組内容 〉

1 あいさつ運動

【目的】

朝の元気なあいさつで気持ちのよい一日をスタートさせよう。

【方法】

- よいあいさつを事前に全校児童に知らせる。
- 書記局が交代で朝玄関に立ち、あいさつする。
- 元気なあいさつをしてくれた人や人数を全校朝会で紹介する。



2 全校遊び

【目的】

遊びを通して全校児童と仲良くなろう。

【方法】

- 書記局が全校遊びを企画する。
- 前期は「全校おにごっこ(逃走中)」を企画、実施。



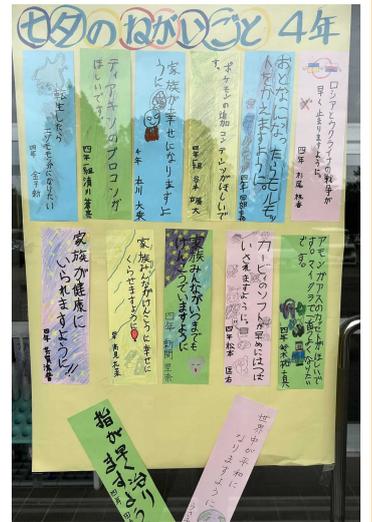
3 短冊の飾り付け

【目的】

全校児童の決意や願いを交流し、絆を深める。

【方法】

- 生活楽校委員会が企画、実施する。
- 運動会に向けた決意や、七夕の願い事などを短冊に書いて児童玄関に掲示する。



4 なやみごとボックス

【目的】

困っている人が一人で悩まないように、みんなで助け合おう。

【方法】

- 「なやみごとボックス」を設置し、悩みを解決する。

5 そらぶちキッズキャンプへの募金活動

【目的】

江部乙にある「そらぶちキッズキャンプ」に協力しよう。

【方法】

- そらぶちキッズキャンプについて知ってもらう。
- 全校のみんなに募金への協力を呼びかける。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 自分から積極的にあいさつする人や、相手の目を見てあいさつする人が増えた。
- 「全校遊び」や「短冊の取り組み」により、異学年の交流の輪が広がった。
- ▲より効果的な交流の機会が増やせるとよい。

あいさつがよく、みんなを笑顔でいい気分になれる東小の取組み

〈取組内容〉

1 復活！「あいさつコラボレーション」

ねらい～気持ちよいあいさつができる東小児童になる。
 (▲高学年の声が小さい、あまりあいさつしない)

過去の取組みとのちがい

- ・前期 1 回→5～9 月

取組みの様子

- ・毎週(月、水、金) 校門前(雨天時は、玄関)
- ・他の委員会の児童約 8 名と児童会 2 名の合計約 10 名

成果～・5～6年で積極的にあいさつする人が増えた。

- ・低学年の元気のよいあいさつは、気持ちがいいこと。

反省～・あいさつの声が小さい人や反応のない人がいたこと。

- ・車に乗って登校する児童へは、「あいさつ運動」が伝わらないなど。



2 4年ぶり「歌声集会」の開催

ねらい～合唱の発表を通して、児童と教職員が互いに集団の一員としての自覚を持つ場とする。

過去の取組みとのちがい

- ・スローガン「虹をかけよう 心を合わせる歌声」の設置
- ・感想を述べる先生は、その場でルーレットを使って決める。

成果～・ルーレットが止まって先生の名前が発表されるたびに歓声上がり、雰囲気盛り上がった。
 ・歌の発表を聞き合う集会を通して、歌声のすばらしさと成果をたてることで、参加者が一体感を持つ集会になった。



3 後期の活動予定「3・3あいさつ運動」と「全校レク」

3・3あいさつ運動～一人ひとりが登校中に地域の人、先生、東小の人の3人にあいさつをする

全校レク～他の委員会のレク活動もみながら、みんなが楽しめるレク活動を開催予定。

〈成果(○)や課題(▲)〉

○3年ぶりに歌声集会活動を実施し、歌声のすばらしさと全校で集まる集会の楽しさを感じることができた。

○コロナで停滞していたあいさつ運動をさらに一歩すすめ、5・6年全員があいさつを呼びかける側に立つ取組みを通して、課題であった5・6年も積極的にあいさつをする人が増えた。

▲仲間作りの取組みを率先し、いじめ撲滅をテーマとした取組みができなかった。

2. 感想交流(意見交換)の内容

滝川第二小学校から滝川第一小学校への質問

手作りシールは誰が作ったのですか？

→前期に行ったコエハピタイム「あいさつの活動」で使った手作りシールは、前期児童会三役でオリジナルのシールを作りました。(滝川第一小学校)

西小学校から東小学校への意見

車に乗って登校する児童へは挨拶運動が伝わらないなど書いてありますが、常に玄関前で行えば車に乗って登校する児童にも伝わるのではないのでしょうか。

→挨拶コラボレーションは児童会だけではなく、他の委員会も参加するため人数が多いです。ですから、雨の日以外は校門前で行って来ました。まず初めに校門で挨拶をすると校内でも挨拶の声が出ると思ったからです。(東小学校)

開西中学校から滝川第一小学校への質問

ボランティア活動はどのくらいの期間行っていますか。

→ボランティア活動は継続した活動ではないので、1度しか行っていません。(滝川第一小学校)

明苑中学校から江陵中学校への質問

集会の時に松竹さんの作文を紹介されたと思うのですが、その作文を選んだ理由を教えてください。

→全校生徒が考えやすい内容だと思ったからです。(江陵中学校)

東小学校から江部乙小学校への質問

お悩み事ボックスではどうやって解決した悩みを伝えるのですか。悩み事ボックスには大体何枚くらい入っていましたか。

→悩み事を解決した方法は、悩み事を書いてくれた人をまず呼んで、その人と一緒に話したりして、どんなことがあったかを話し合っ解決しました。枚数は1枚しか入っていませんでした。(江部乙小学校)

滝川第三小学校から東小学校への質問

歌声集会と挨拶コラボレーションではどのようなことをしているのかを具体的に知りたいです。

→歌声集会は、音楽の授業で取り組んできた歌を披露する集会です。1年に2回あり、前期は偶数学年、後期は奇数学年の発表になります。合唱部の歌もあります。最後に全校合唱もします。歌の発表と先生の感想だけですが、東小学校で長く続いている伝統のある集会です。挨拶コラボレーションは児童会だけでなく、他の7つの委員会にも割り当てて、朝の挨拶運動をする企画です。5、6年生の全員に1回は協力してもらいました。参加を忘れないように、昼の放送で今週の協力者を言うなどの工夫をしました。(東小学校)

江陵中学校から滝川第一小学校への感想

第一小学校に質問です。ボランティア活動で何かできることとありますが、何か考えているものはありますか。

→後期は冬なので雪かきなどを考えていますが、どうするかはこれから決める予定です。

(滝川第一小学校)

滝川第一小学校から滝川第二小学校への質問

ポストの取り組みがとても良いと思います。どんな場所に置いてあるのか教えてください。

→低学年玄関、高学年玄関の2つに設置しました。(滝川第二小学校)

滝川第二小学校から西小学校への質問

クラスの親睦が深められなかったのはなぜでしょうか。

→ドッジボールで同じ人が連続で投げてしまっていたので、おそらくそれかなと思っています。

(西小学校)

開西中学校から滝川第一小学校への質問

挨拶の活動でシールを渡すことで挨拶をする人は増えましたか。

→シールを渡すことで色々な場所で挨拶をする人は増えましたが、やはり継続しないと効果は薄いことに気づきました。(滝川第一小学校)

東小学校から滝川第三小学校への質問

ルールを守る動画は具体的にどんな内容ですか。

→廊下を正しく歩く順番の守り方、話の聞き方、譲り合いなどのルールや人に接する態度を取ったルール動画です。(滝川第三小学校)

各委員会での集会では、学年を超えた絆ができるようにどのような工夫をしたのですか。

→体育委員会は1・2年生、中間委員会では1・4年生、2・3年生に分かれ活動を行い、違学年で交流をしました。(滝川第三小学校)

明苑中学校から滝川第一小学校への質問

ニコガオタイムはてんか以外、1年間で何をどのくらい行っているのですか。

→ニコガオタイムは継続した活動ではないので1度しか計画はしていませんが、全校で遊べるものを企画しました。(滝川第一小学校)

西小学校から江部乙小学校への質問

困っている人が悩まないようにするのは学校のことだけですか。

→前期は学校のことだけです。(江部乙小学校)



滝川第二小学校から江陵中学校への質問

いじめについて考える集会は何か月に何回行っているのですか

→全校集会では年に1回です。(江陵中学校)

江陵中学校から滝川第二小学校への感想

校内ウォークラリーは好評だったようですが、今の書記局で何かアレンジしたことはありますか。また、新書記局で何か考えていることはありますか。

→問題の数を増やしたり内容を変えました。(滝川第二小学校)

人が嫌がることはやめようと呼びかけをして、どのような変化がありましたか。

→いじめ相談ボックスの中に紙の枚数が増えましたが、それはいじめについて1人1人の意識が高まったからだと思います。(滝川第二小学校)

滝川第一小学校から明苑中学校への質問

後期のボランティアの参考にしたいので、除雪ボランティアについて詳しく教えてください。

→除雪ボランティアについては、全校で参加してくれるボランティアを募集して、新町団地の周りの除雪や氷割り、雪下ろしをしています。とても疲れますがやりがいがあります。

(明苑中学校)

滝川第三小学校から滝川第一小学校への感想

ゴミ拾いはどのような時間帯にやっていますか？また、学校の敷地以外もやっているのですか。

→ボランティア活動は7月13日(木)の委員会活動の時間を使って行いました。また、学校の敷地以外にも、前期三役は一の坂西公園でごみ拾いをして、去年の三役からの思いを引き継いでボランティア活動に取り組みました。(滝川第一小学校)

滝川第三小学校から西小学校への質問

校内ドッジボール大会はとても楽しそうな企画だと思いました。書記局での取り組みなのか、他の委員会の企画なのか教えてください。また、どのような時間を使って実行したのですか。

→児童会書記局の企画です。冬休みを3回使って行いました。(西小学校)

開西中学校から滝川第二小学校への質問

いじめ相談ボックスを設置してイタズラはありましたか。また、あった場合の対処法を教えてください。もう1つあります。いじめ相談ボックスを設置して、いじめは改善されましたか。

→いたずらなどはありませんでした。でも、この活動によって、これからのいじめの防止になると思います。(滝川第二小学校)



明苑中学校から滝川第二小学校への質問

いじめ相談ボックスの内容について全校集会で呼び掛けたとありますが、その時に具体的な内容は言いましたか。

→全校集会でいじめ相談ボックスに入っていた内容を全校生徒に呼びかけました。

(滝川第二小学校)

江陵中学校から滝川第三小学校への質問

取り組み内容1の挨拶運動に「玄関でポスターを持って挨拶をする」とありますが、ポスターにはどんなことを書きましたか。

→絵などを入れて「おはようございます」などを表しています。それを手に持っています。

(滝川第三小学校)

滝川第三小学校から江部乙小学校への質問

全校遊びはどのような時間帯にどんな風に行ったのか教えてください。

→休み時間に全校児童を呼んで、みんなでやります。(江部乙小学校)

滝川第一学校から東小学校への質問

1の「あいさつコラボレーション」について、車に乗っている児童に伝わらないというのはどういうことですか。

→挨拶コラボは児童会だけでなく、他の委員会の人も参加するため人数が多いです。だから雨の日以外は校門前で行ってきました。駐車場は校門の中にあるため、車を降りたら玄関に直行してしまいます。ですから挨拶ができません。(東小学校)

3の「3・3あいさつ運動」について、3人という数にはどんな狙いがありますか。

→今までは友達と先生への挨拶運動でしたが、さらに3人目の地域の人へと広げると良いと思ったからです。3は語呂が良くて言いやすいからです。また3・3は太陽の明るいイメージに繋がるからです。(東小学校)

滝川第二小学校から開西中学校への質問

コミュニケーションボードにいたずらをさせないためにどのような取り組みをしていますか。

→ホワイトボードの端に注意書きをしたり、いたずらがあつた場合は書記局便りで注意をします。

(開西中学校)

滝川第三小学校から滝川第二学校への質問

いじめ相談ボックスは、名前を書いて入れるのですか。

→名前を書くことは求めません。(滝川第二小学校)

校内ウォークラリーは楽しそうな企画だと思います。クイズのヒントを高学年が低学年に教えると書いてありますが、ウォークラリーを考えた人だけですか。

→クイズに関しては書記局のみヒントを教えています。クイズの場所に関しては児童の間で教え合っているそうです。(滝川第二小学校)

明苑中学校から滝川第三小学校への質問

スマイルプロジェクトはいつから行っているのですか。

→確かではないですが、3年ほど前からありがたい気持ちを伝える企画などを続けてきました。
(滝川第三小学校)

滝川第二小学校から開西中学校への感想

交流イベントというと遊びを思い浮かべますが、ホワイトボードに自由に記入するという取り組みがあるんだなと参考になりました。

→自分の名前を書かずに自由に記入できるので、気軽に違学年と交流できます。ぜひ参考にしてください。(開西中学校)

滝川第一小学校から東小学校への意見

2の「歌声集会」について、先生方も一緒に歌ったり、子ども同士でも感想を交流したりするとよいと思いましたがどうですか。

→良いと思います。意見を参考にしたいです。(東小学校)

明苑中学校から西小学校への質問

グッドグリーティングの一言メッセージはどのようなものを書いていましたか。

→グッドグリーティングの一言メッセージでは、星座占いやじゃんけん、クイズ、豆知識などを行いました。(西小学校)

アンケートで「いいえ」をつけた人には、これからどのようにしていくのですか。

→「いいえ」をつけた人はあまり楽しくなかったなどの理由だと思うので、みんなが楽しめるような遊びにしたいと思います。(西小学校)

滝川第一小学校から西小学校への質問

第一小学校でも悩むことが多いのですが、上の学年と下の学年が対戦する時のルールは他にもあるのですか。

→上の学年は下投げ以外は通常のドッジボールのルールです。(西小学校)

滝川第三小学校から明苑中学校への質問

ポスターにはどんな言葉を書きましたか。

→グループでキーワードを決め、それを実現するためにできることを考えて書きました。例えばこのポスターのような感じです。このグループでは、みんなが笑顔をキーワードにして、思いやりを大切に行動できるようにしています。(明苑中学校)



3. まとめ

いじめの防止は何のため？

いじめられる人を出さないため

いじめる人を出さないため



すべての人が気持ちよく生活できるため

いじめの防止の取り組み

いじめを直接テーマとする取り組み

仲間づくりをテーマにする取り組み

4. 講評

滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

今日は大変ご苦労様です。各校の取り組みを発表していただきましたが、児童会・生徒会を中心に、絆づくり、仲間づくり、いじめ防止に取り組んでいることがよくわかりました。発表の姿も大きな声で発表していただいて、こちらの会場で聞いている皆さんにもよく伝わったと思います。また、その後の意見交換についても、オンライン形式なのでスムーズにいかない点がありましたが、活発な意見交換をしていただきました。それぞれ学校の取り組みでは、成果と課題をしっかりと分析されていると感じました。



成果につきましては、これからもさらに磨き上げていただきたいと思いますし、課題については、解決するためにどうしたらいいのかを皆さんに考えていただきたいと思います。この一年、いじめ防止ということで取り組んでおりましたが、まず各学校で仲間づくり、絆づくりを中心に取り組んでいる印象を受けました。

江陵中学校ではマイアクションづくりの取り組みで、明苑中学校ではあいさつの明苑を目指すこと、関西中学校では生徒会中心に違学年交流に取り組んでいること。

第一小学校では、ニコハピタイムの取り組み、第二小学校ではいじめ相談ボックスの設置で声を拾い上げているということ。第三小学校では動画を作成して、各クラスの部活の様子を紹介していること。

西小学校では仲間づくりプロジェクトの取り組みの紹介がありました。江部乙小学校では全校遊び、お悩みボックスの設置。東小学校では伝統の歌声集会在が復活し、先生も含めて行なわれ、大変良かったという風に思っております。

各校共通していることが、挨拶運動に取り組んでいただいているということです。この挨拶運動は滝川市全体の取り組みとして、もう10年以上前からやっておりますが、今もなおしっかりと引き継ぎされているところが素晴らしいと感じました。今日は生徒会・児童会中心の取り組みの発表もありましたが、これからもこの仲間づくり、絆づくり、いじめ防止を皆さん方が中心として、自分の事として考えながら、取り組んでいただきたいと思います。

最後になりますが、今年度も滝川地区保護司会の皆さまから、各校の皆さんに参加賞をいただいております。皆様方からもお礼を申し上げていただければと思います。

以上を申し上げまして、私からの講評といたします。本日はどうもありがとうございました。

5. 参加した児童生徒の声

- 全部良かったと思いますが、江部乙小学校の全校遊びがいいなと思いました。
- 開西中学校の取り組みが参考になった。
- 西小学校と開西中学校のドッジボール大会に今後取り組んでみたいです。
- 全て良いと思いますが、江部乙小学校の全校遊びをやりたいなと思いました。
- 全部とても良かったと思います。特に、江部乙小学校の全校遊びが参考になりました。
- 今後もっといじめの対策に取り組みたい。それで滝川第二小学校のいじめボックスをとり組んで見たいと思いました。
- 短冊の願いことがいいなーと思いました。
- 滝川第一小学校のニコハピタイムに取り組んでみたい。
- 滝川第二小学校のいじめ相談 BOX の取り組みが参考になった。
- キーワード等を書くポスターを制作するというのが参考になりました。楽しそうだなと思いました。
- 滝川第二小学校の「校内ウォークラリー」が参考になった
- 全学校とても良い取り組みをしていたと思いますが特に参考になったものは滝川第二小学校の『いじめ相談 BOX』や、江部乙小学校の『なやみごとボックス』などの、児童が打ち明けたいことなどを匿名で相談できるものがあるのはいいと思いました。
- 滝川第一小学校のニコハピタイムのなかのニコハピタイムがポイ捨てへの関心が深まりそうでいいなと思った。僕たちの学校でも、取り組んでみたいなと思った。
- 開西中学校のコミュニケーションボードの取り組みが参考になりました。僕たちの学校でも取り組みたいと思いました。
- 東小学校の全校レクでいろんな人と交流できていていいと思いました。今後、全校レクに取り組んで交流で仲を深めたいです。
- 東小学校の歌声集会在みんなの絆を深めれると思うから、第二小学校でもやってみたいと思いました。
- 滝川第三小学校の各委員会が企画運営する「絆づくり」の集会などの活動の取り組み」が学校で「楽しく」絆を深められるという考えが目標にとってもとずいていて良い取り組みだと思いました。
- 開西中学校の取り組みが参考になった。今後コミュニケーションボードによる異学年交流に取り組んでみたい。
- 色々な小学校、中学校と交流してみて開西中では取り組んでいない活動を行っていて参考になった。
- 滝川第一小学校の挨拶活動でシールを配ってやる気を上げているのがとてもいいと思いました。

- ・滝川第一小学校の声ハピタイムが参考になった。
- ・西小学校の「校内ドッチボール大会」が参考になった。
- ・仲間づくりプロジェクトの活動が参考になりやってみたいと思った。
- ・開西中学校の交流ボードが楽しそうだし他学年との交流や友達との話題にもなりそうだったので、人数や暴言などの問題を対策できれば取り組んでみたい。
- ・滝川第二小学校の取り組みが参考になった。
- ・江陵中学校のいじめゼロの取り組みがいいと思った。
- ・今後あいさつについて取り組んでいきたい。
- ・あいさつ運動を場所を変えたりするってのが、よかった。
- ・江陵中学校のいじめを再現してなぜいじめが起こったのかを考えるとということにいいなと思いました。
- ・東小学校の挨拶コラボレーションが良かったと思います。
- ・開西にはない取り組みがたくさんあり全部の学校の取り組みが参考になりました。
- ・滝川第三小学校の挨拶運動で、他の国の挨拶を取り入れることが良いと思ったので、参考にしたいです。
- ・江陵中学校、東小学校
- ・今後、お悩みごとボックスに取り組んでみたい。
- ・滝川第三小学校の色々な国の挨拶を取り入れるあいさつ運動が斬新で取り組みたいと思いました。
- ・江部乙小学校の悩み事ボックスをやってみたいと思った。
- ・明苑中学校が参考になった。今後、あいさつ運動に取り組んでみたいと思った。
- ・滝川第二小学校の「校内ウォークラリー」のような、全校生徒で交流・協力して楽しめるような企画をしたい。
- ・開西中学校のコミュニケーションボードがいいと思った。
- ・今後、全校遊びに取り組んでみたい。
- ・滝川第二小学校の「校内ウォークラリー」がすごく楽しそうだったので、開西中でも取り組んでみたいです。
- ・江陵中学校のボランティア活動の取り組みの雪かきが今後の第一小学校のボランティア活動に参考になった。
- ・ほとんどの学校がBOXを作っていたことが意外だった。第二小学校の自分たちでいじめを解決しようとしていることがすごいと思った。
- ・ホワイトボードを使って交流する取り組みが参考になった。

